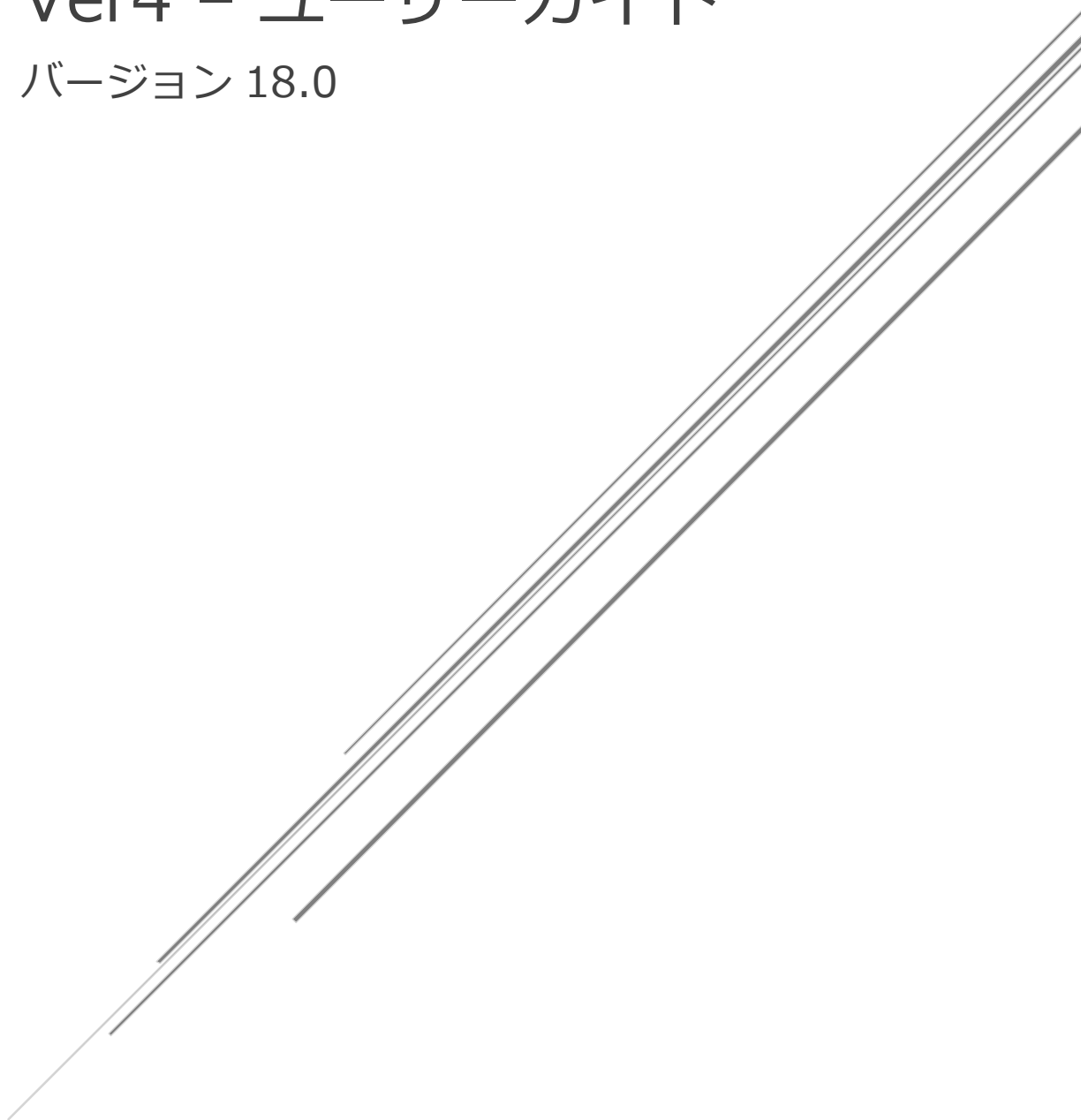


# パソコンセキュリティサービス Ver4 – ユーザーガイド

バージョン 18.0



## 改版履歴

全面改訂	1.0.0	2021/08/31
------	-------	------------

### ●免責事項

本書は本書執筆／更新時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時のバージョンの製品を元にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果につきまして、弊社は、如何なる責任も負わないことといたします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更することがあります。

### ●商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

### ●複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部または全てを複製することはできません。また、譲渡もできません。

## 目次

はじめに .....	4
<b>1. 動作環境 .....</b>	<b>4</b>
1.1 対応 OS .....	4
1.2 対応ハードウェア .....	4
<b>2. インストール .....</b>	<b>5</b>
2.1 事前準備 .....	5
2.2 PCセキュリティサービスのインストール .....	5
<b>3. 製品の使用 .....</b>	<b>8</b>
3.1 製品メイン UI .....	8
3.2 各製品機能 .....	9
3.3 各製品機能 .....	12

## はじめに

本書では、「エフセキュア PC プロテクションプラス」を利用する場合の説明をします。  
尚、本文中に使用されている画面は開発中のもので、正式版とは異なる場合があります。

### 1. 動作環境

以下では、本製品の動作要件について説明いたします。

#### 1.1 対応 OS

Windows 8.1 (32bit/64bit) 全エディション(ARM CPU は未対応)

Windows 10 (32bit/64bit) 全エディション(ARM CPU/Windows 10 S は未対応)

※ 各 OS は、最新のアップデートの適用をお願いします。

#### 1.2 対応ハードウェア

プロセッサ	Intel Pentium4 2GHz 以上
メモリ	1GB 以上(2GB 以上推奨)
ディスク	600MB 以上の空き容量

## 2. インストール

以下では、製品のインストール手順についての説明をします。

### 2.1 事前準備

下記 WEB にて「パソコンセキュリティサービス」にお申し込みください。折り返しメールにてインストーラのリンクのダウンロード用の URL およびライセンスキーコードをお知らせします。

<https://www.kcn-kyoto.jp/service/internet/internet-option/security/f-secure/>

また、ご使用のコンピュータから「ウイルス対策ソフト」「スパイウェア対策ソフト」「ファイアウォールのプログラム」などをすべて事前にアンインストールしてください。これらのアンインストール方法については、各製品のマニュアルを参照してください。

先の 1.1 で述べた対応 OS に本製品のインストールをいたします。

### 2.2 PC セキュリティサービスのインストール

#### 1) インストールについて

「PC セキュリティサービス」のインストーラを実行するとインストールを開始します。



インストーラを実行

#### 2) 「F-Secure セットアップ」画面について

セットアップ画面が表示されますので、「同意して続く」をクリックします。

パソコンセキュリティサービス Ver4 のセットアップ

日本語



## パソコンセキュリティサービス Ver.4 のセットアップ

[同意して続行] ボタンを押すと、[使用許諾契約書](#)に同意するとみなされます

☐ パーソナライズされていない使用データを送信して製品の改善に貢献できます

同意して続く

[データの扱い方について](#)

### 3) インストール実行

製品のモジュールがダウンロードされ、インストールが行われます。

パソコンセキュリティサービス Ver.4 のセットアップ

— □ ×



## パソコンセキュリティサービス Ver.4 のセットアップ

お待ちください...

互換性を確認しています

40%

### 4) キーコードの入力

キーコード入力画面が表示されるので、「ライセンスキーコード」を入力し、「次へ」をクリックしてください。

パソコンセキュリティサービス Ver.4 のセットアップ

— □ ×



## パソコンセキュリティサービス Ver.4 のセットアップ

ライセンス キーコード:

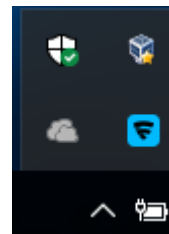
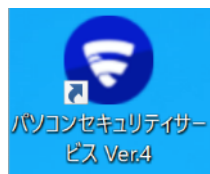
次へ

## 5) インストール完了

「PC プロテクションプラス」が正常にインストールされた場合は、デスクトップ上に以下のメイン画面が表示されます。



また、以下の「F-Secure」アイコンがデスクトップ上、またはシステムトレイに表示されますのでご確認ください。



再起動を促す画面は表示されない場合がありますが、インストール後はパソコンの再起動を推奨します。以上でインストールは完了です。

### 3. 製品の使用

基本的にはインストール後、そのまま有効な製品となっており、特に設定等をして頂く必要はありません。自動的にパターンファイルが更新され、ウイルスから保護されます。

設定メニューやツールをご利用頂く場合は、タスクトレイの F-Secure アイコンかデスクトップのアイコンをクリックします。

#### 3.1 製品メイン UI

リアルタイムスキャン等のアンチウイルス機能を管理する「ウイルスと脅威」メニュー、「セキュアブラウジング」メニュー、「ペアレンタルコントロール」メニューから構成されます。また、必要な処理やお知らせを伝えるメッセージ、最近のイベントを確認できます。





## 3.2 各製品機能

### 1) 「ウイルスと脅威」画面

ウイルスと脅威に対する各操作を行い、保護履歴と統計情報を確認する画面です。



クイックスキャン	重要なシステム領域のスキャンを行います。リアルタイムスキャンにより保護されているため、通常は実行する必要はありません。
完全スキャン	システム内のアクセス可能なすべてのファイルのスキャンを行います。リアルタイムスキャンにより保護されているため、通常は実行する必要はありません。完全スキャンは完了までに数時間かかる場合があります。
アップデート確認	最新のパターンファイルなどの更新を確認します。
アプリとファイル制御	ウイルス保護によって隔離、ブロックされたファイルを管理します。スキャンの除外設定もここから行います。
サンプルを送信	F-Secure のサンプル提供 Web ページ（英語）を開きます。誤検知やすり抜けと思われるファイルがあった場合に、このページからファイルを提供できます。
セキュリティ機能を無効にする	すべてのセキュリティ機能を無効にします。OS 再起動後、またはメイン UI から機能をオンにするを選択すると、再びセキュリティ機能が有効になります。
Windows ファイアウォールの設定	Windows のファイアウォール設定画面を開きます。Windows ファイアウォールの挙動を理解している上級者向けの設定になります。
設定	製品の詳細な設定を行う画面を開きます。

## 2) 「セキュアブラウジング」メニュー

安全なブラウジングを行うための機能の設定を行う画面です。



許可およびブロックされたWebサイトを管理する	アクセスを許可するサイトを手動で追加したり、過去にブロックしたサイトへのアクセスを許可する設定が行えます。
サンプルを送信	F-Secure のサンプル提供 Web ページ（英語）を開きます。誤検知やカテゴリの分類分けが正しくないと思われるがあった場合に、このページから URL を提供できます。
設定	製品の詳細な設定を行う画面を開きます。

### 3) 「ペアレンタルコントロール」メニュー

お子様に PC の時間制限や、URL フィルタリングの設定を行い、健全な利用を促進します。設定内容を変更するには、「ペアレンタルコントロールの編集」をクリックしてください。（PC の管理者権限が必要になります）



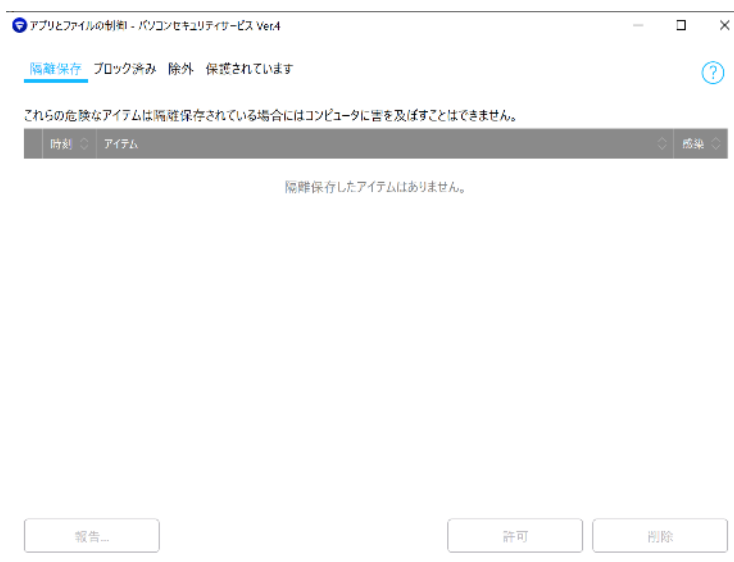
毎日の時間制限	1 日当たりの PC の使用時間を設定します。
許可された時間帯	曜日ごとに PC を使うことのできる時間帯を設定します。
コンテンツフィルタ	アクセスできる Web サイトを制限します。禁止するカテゴリを選ぶブラックリスト方式か、特定のサイトのみを許可するホワイトリスト方式のいずれかで設定することが可能です。

### 3.3 各製品機能

製品機能の各項目選択時に表示される詳細設定項目について説明いたします。

#### ① アプリとファイル制御

「ウイルスと脅威」メニューで、「アプリとファイル制御」を選択した場合などに表示されます。



隔離保存	ウイルス検査により、隔離保存されたものが一覧で表示されます。「許可」ボタンから元の状態に復元することができます。
ブロック済み	ディープガードによりブロックされたアプリケーションの一覧が表示されます。誤って登録されたアプリケーションを、「許可」ボタンから許可することができます。
除外	スキャンから除外するファイルを指定できます。「新規追加」から対象のファイルやフォルダを指定してください。
保護されています	ランサムウェアなどの脅威から保護するフォルダを指定できます。デフォルトで、ユーザのドキュメントフォルダなどが登録されます。「新規追加」から任意のフォルダを追加することもできます。

② 許可およびブロックされた Web サイト

「セキュアブラウジング」メニューの「許可およびブロックされた Web サイトを管理する」を選択した場合や、ペアレンタルコントロールのコンテンツフィルタで「許可するサイトを表示」を選択した場合などに表示されます。



許可	アクセスが許可されているサイトの一覧です。ブラウザ保護機能とコンテンツフィルタ機能の両方で許可されています。「新規追加」ボタンから対象の URL を入力してください。
ブロック済み	アクセスが拒否されているサイトの一覧です。「新規追加」ボタンから対象の URL を入力してください。

### ③ イベント履歴

メイン UI で「タイムライン全体を表示」を選択した場合などに表示されます。ウイルス検知など、製品で発生したイベントの履歴が確認できます。

イベント履歴 - パソコンセキュリティサービス Ver.4

ここでは、パソコンセキュリティサービス Ver.4のさまざまなイベントを確認できます。

時刻	タイトル	ユーザ	詳細
2021/08/31 16:57	サブスクリプションは 2022/09/01 まで有効になりました		
2021/08/31 16:56	パソコンセキュリティサービス Ver.4がインストールされました		

すべてのイベントを表示および消去するには、管理者権限が必要です。

[すべてのイベントを表示](#)

[すべてのイベントを消去](#)